

質問回答

平成 26 年 6 月 9 日

「モロッコ国公平な教育振興プロジェクト」

(公示日 : 平成 26 年 5 月 28 日 / 公示番号 : 140367) について、以下のとおり質問いたします。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	【第 1 年次国内準備作業】ページ 10、21～24 行目	「6-14 本邦研修の実施支援 1 年次については関連する課題別研修にモロッコ側 C/P(3 名)を参加させる形で本邦研修を実施する。研修員の人選、研修前の事前準備、研修後のフォローアップについての計画案についてはプロポーザルに記載すること。」との記載がありますが、1 年次にモロッコ側 C/P が参加予定の課題別研修の 1) テーマ・内容、2) 実施時期・期間につきご教示頂きたい。	1 年次は課題別研修「中東における基礎教育拡充のための教育行財政と学校運営の改善」に参加予定です。研修目標は「中東地域を対象に、教育行政官の行財政システムの理解促進とマネジメント能力向上を目的とした研修を実施し、人材育成を図る」ことです。実施時期は 2014 年 9 月 1 日～26 日。RD締結が遅れ、プロジェクト開始直後の時期になったため、研修員の人選は JICA モロッコ事務所・モロッコ教育省で対応し、研修前の事前準備、研修後のフォローアップを実施していただく予定です。
2	貴指示書「第 2 業務の目的・内容に関する事項」(以下同様)P. 2 1 行目 同 P. 4 「教育の質(Quality)」コンポーネント」 配布資料 MM P.5 Bassin Scolaire Section	基本コンセプトとして「②『教育の質』: 中学校入学時の生徒の学習レベルの低い学校郡を支援対象とする」とあり、MM にも Quality の Indicator to select BS として Final Exam Score of the Primary Schools と記載されていますが、貴指示書 P.4 では「中学校の修了試験(9 年生)の振るわない学校群(BS)を把握」とあります。質コンポーネントにおける対象学校群選定の基準について、小学校修了試験か中学校修了試験かのご確認	どちらか片方、あるいは両方を用いてもかまいません。「生徒の学習レベルの低い学校群」を把握するに最適と思われる指標やその利用法をご提案ください。

		をお願いできればと思います。	
3	<p>貴指示書 P. 5 (2)「持続性の構想とその実現方法」</p> <p>配布資料 RD Annex IV JCC メンバーリスト</p>	<p>貴指示書に「プロジェクト専属の C/P として 11 名が MENFP より指名されており」とあり、RD Annex IV には JCC メンバー11 名が添付されています。</p> <p>JCC メンバー11 名以外に専属 C/P が指名されているのか、念のため確認させてください。</p>	11 名以外には特に指名されていません。
4	<p>貴指示書 P. 9 の 6-9「『教育の質』コンポーネントの対象校を選定する」</p> <p>同 P.10 の 6-12「『アクセス』コンポーネントの対象校を選定する」</p> <p>配布資料 RD P. 4 2. Project Site(s) and Beneficiaries (2) Beneficiaries</p> <p>同 Annex1 PDM version 0</p> <p>配布資料 MM P.4-5 2. The targeted AREFs, Delegations, and Schools (2) Delegation selection (from AREF), (3) Bassin Scolaire Selection (from Delegation)</p> <p>同 Annex 1 PDM as of October 11, 2013</p> <p>同 Annex 5 Target Area and</p>	<p>貴指示書には、「教育の質」コンポーネントと「アクセス」コンポーネントの選定について、それぞれ「ラウンド 1 では、対象 2 AREF から、ラウンド 2 では、さらに対象 2 AREF を加え、それぞれ一つずつ学校群を選定する」と記述があります(それぞれ他のコンポーネントの介入も実施)。すなわち、指示書では、日本側が中心となり支援する学校数は、<u>ラウンド 1 は(1 学校群(教育の質指標から選定)+1 学校群(アクセス指標から選定))×2 州=4 学校群、ラウンド 2 も 4 学校群の計 8 学校群を対象に、「アクセス」と「教育の質」の両コンポーネントを実施すると理解できます。</u></p> <p>他方、配布資料の RD と MM によると、各ラウンド 2 コンポーネント×2 Delegations×2 州=8 学校群との計算から、<u>ラウンド 1 は 8 学校群、ラウンド 2 は 8 学校群を追加し、計 16 学校群を対象と</u>することになっています。なお、MM P.5 L.1 には、「One or two Delegation(s) with ...」との記載がありますが、各州 2 Delegation を対象にするという前提で計算・記載されています。また、RD、</p>	<p>対象学校群の数は、R/D、MM にあるとおり。JICA がラウンド 1 で 8 学校群、ラウンド 2 及びラウンド 3 で 16 学校群を対象とし、モロッコ側はラウンド 3 で 16 学校群を対象とします。そのため、プロジェクト全体では 32 学校群を対象とすることになります。詳細は 2013 年 10 月の詳細計画策定調査時のミニッツ 5 ページ目の下の表及びミニッツ ANNEX5 を参照してください。</p>

	Extension Plan	MMの添付PDMの対象も8州32学校群を対象にするとの記載ぶりです。 今回RD、MMの記載は考慮しなくてもよろしいか、対象学校群の数により提案内容を検討する必要がありますので <u>対象学校群の数を明示いただければ幸いです。</u>	
5	貴指示書 P.9 の 6-11「アクセス」コンポーネントの方法論の検討	3行目に、「学校群全体と個別の学校での取り組みのバランス、 <u>学校による計画の策定、審査、助成、実施、評価等…</u> 」とあります。就学促進計画は、(学校群における)「地域啓発チーム」で策定し、学校群に対する助成を検討すると理解していましたが、「地域啓発チーム」と「学校」の両方から提出された計画に対し、審査、助成、実施するということでしょうか。ご教示いただければ幸いです。	「学校群における地域啓発チームが策定するもの」、「学校群に属する各学校がそれぞれ策定するもの」の二種類の計画を想定しました。どちらかが一方から出てくる場合と両方出てくる場合が想定されます。その両方が審査・助成・実施の対象になります。
6	貴指示書 P. 10 の「就学促進計画(案)の策定支援」	「適切な一件当たりの学校交付金の規模について、素案があればプロポーザルに提示されたい」とあり、かつ「ラウンド1・2回目はプロジェクトにより計上する」と記載されています。こちらの交付金は、プロポーザルの価格競争にはそぐわないと思われるところ、見積書に含めなくても宜しいでしょうか。あるいは含める場合には外見積もりで構いませんか。	学校交付金は見積もりに含めてください。どれくらいの規模が妥当かについては、ご提案ください。参考までに1学校あたりの学校交付金の目安は2013年10月の詳細計画策定調査時のミニッツ6ページ目の表を参照してください。
7	貴指示書 P. 10 の「本邦研修の実施支援」	「関連する課題別研修にモロッコ側 C/P(3名)を参加させる」とあり、かつプロポーザルに「研修員の人選、研修前の事前準備、研修後のフォローアップについての計画」を記載することとされてお	研修課題、実施時期は「質問1」への回答を参照ください。課題別研修であるためプロジェクトに完全に合致した研修内容とすることは困難です。ただし、研修の成果がプロジェクト活動に活用され

		<p>りますので、当該本邦研修の課題および想定されている実施時期をご教示いただけますでしょうか。それにより、提案内容も異なると思料します。また、当該研修の内容の一部について、プロジェクトチームとしてご提案することが可能か否かについてもご教示ください。</p>	<p>るようプロジェクトで研修前後の取り組みを工夫することは可能です。</p>
8	<p>貴指示書 P.15 の「技術協力成果品等」</p>	<p>(成果 1 関連)の成果品として記載されている成果品は成果 2 に関連するもの、(成果 2 関連)の成果品は成果 1 に関連するものと理解しますが、間違っていたらご教示ください。</p>	<p>ご指摘の通りです。修正いたします。</p>

以上